

# 数量調書

---

(令和5年度 令和3年8月豪雨災害復旧事業 三区堰地区左岸水路復旧工事)

松本市役所

**土木・付帯工事**



数量計算書

吐出水槽	1600 × 1600 × 6000				1.0	1 箇所
柵蓋 (吐出水槽用)	開口蓋600 × 600付				1.0	1 箇所
" 布設	184.0 k g (現場総重量396.6kg)	土地改良工事積算基準 (施設機械) p148 表-6・1・1 : 区分D			1.0	1 箇所
踊り場 (吐出水槽用)	開口蓋600 × 600付				1.0	1 箇所
" 布設	212.6 k g (現場総重量396.6kg)	土地改良工事積算基準 (施設機械) p148 表-6・1・1 : 区分D			1.0	1 箇所
転落防止柵 H=1.1m(吐出水槽用)	110.8 k g /式				1.0	1 箇所
" 布設 アンカー固定	H=1.1m	L=1.95+1.95+0.8+0.45=5.15m			5.15	5.2 m
取付暗渠工 (下流側)					1.0	1 箇所





# 施設機械設備工事









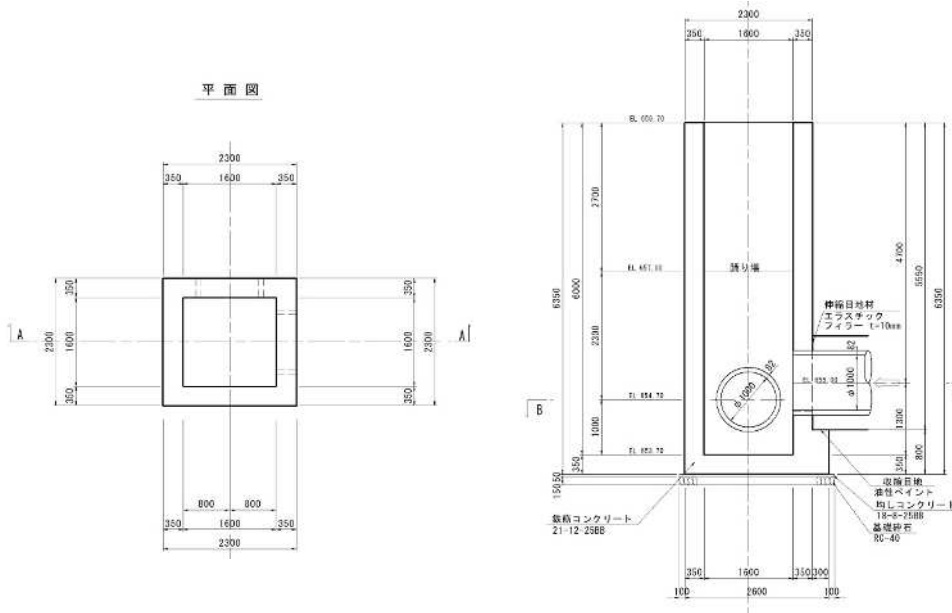
計算調書4

名称	規格	数量	単位	備考
2) 労務費				
2-1) 機械設備製作工	$Y = y \times km \times Ks \times Kn = y \times k$			
土地改良工事積算基準(施設機械) p84 2-3	Y: 製作工数 5.03 (人/門) × 1門 =	5.0	人	
	y: 標準製作工数			
土地改良工事積算基準(施設機械) p84 表-3・1・10	$y = (0.59 \times X2 + 2.67)$			
	= 5.03 (人/門)			
	X2: 戸当り延長			
	$X2 = 1.00 \times 2 + 1.00 \times 2$			
	= 4.00			
	純径間 = 1.00 (m)			
	戸当り高 = 1.00 (m)			
	k: 補正係数			
	$k = km \times kn = 1.00$			
土地改良工事積算基準(施設機械) p86 表-3・1・11(注)1戸当り	km: 使用材料による補正係数 km = 1.00			注1. 戸当りは材質補正を行わない。
土地改良工事積算基準(施設機械) p87 表-3・1・12	ks: 開閉装置形式による補正係数 該当なし			
土地改良工事積算基準(施設機械) p87 表-3・1・13	kn: 製作数による補正係数 Kn = 1.00			
3) 塗装費 酸洗処理	労務費 × 塗装費率	8.00	%	
3. 開閉装置				
1) 機器単体費				
土地改良工事積算基準(施設機械) p83 表-3・1・9 2) 参照				
ラック巻上機(手動)		1	台	
ラック棒		1	本	
ラックカバー		1	本	
巻上機ベース(開閉台)		1	台	
振止め金具		1	式	
2) 部品費				
土地改良工事積算基準(施設機械) p81 表-3・1・6(注)1	表に率の記載がないため、小形水門の開閉装置(ラック式)には部品費を計上しない。			

計算調書5

名称	規格	数量	単位	備考
据付工事原価（水門設備）	土地改良工事積算基準（施設機械）p6 2-2 1)			
1. 直接工事費				
1) 輸送費(製品 工場～現場)	$y=(17.2x+42) \times D+212,000=$	1	式	
(製品 現場まで)	x: 対象設備扉体面積 x= 1.00 (m <sup>2</sup> )			X=1.00[m <sup>2</sup> ]
土地改良工事積算基準（施設機械）p89 表-3・1・16	D: 想定輸送距離 D= 11.8 (km)			
2) 据付労務費		1	門	
土地改良工事積算基準（施設機械）p91 表-3・1・19				
2-1) 据付工	$Y \times 80\% \times \text{門数} \quad 1$	8.6	人	
2-2) 普通作業員	$Y \times 20\% \times \text{門数} \quad 1$	2.2	人	
	$Y=y \times Kn \quad Y= 10.79$			
	$y=(3.49x+8.5) \times y0 \quad y= 10.79$			
	x: 扉体面積 x= 1.00 (m <sup>2</sup> )			
土地改良工事積算基準（施設機械）p91 表-3・1・19（注）2.	y0: 開閉機駆動方式による補正係数 0.90			10%低減
土地改良工事積算基準（施設機械）p92 表-3・1・21	Kn : 据付数による補正係数 1.00			1門
3) 材料費				
3-1) 据付材料費	据付労務費 × 据付材料費率	3.00	%	
土地改良工事積算基準（施設機械）p90 表-3・1・17（注）1.				
3-2) 据付補助材料費	据付労務費 × 補助材料費率	1.50	%	
土地改良工事積算基準（施設機械）p90 表-3・1・18				
4) 直接経費				
4-1) 機械経費	土地改良工事積算基準 p92 3-5 (1) 機械経費	1	門	
土地改良工事積算基準（施設機械）p93 表-3・1・22				

G1000 吐出し水槽1箇所あたり数量計算書

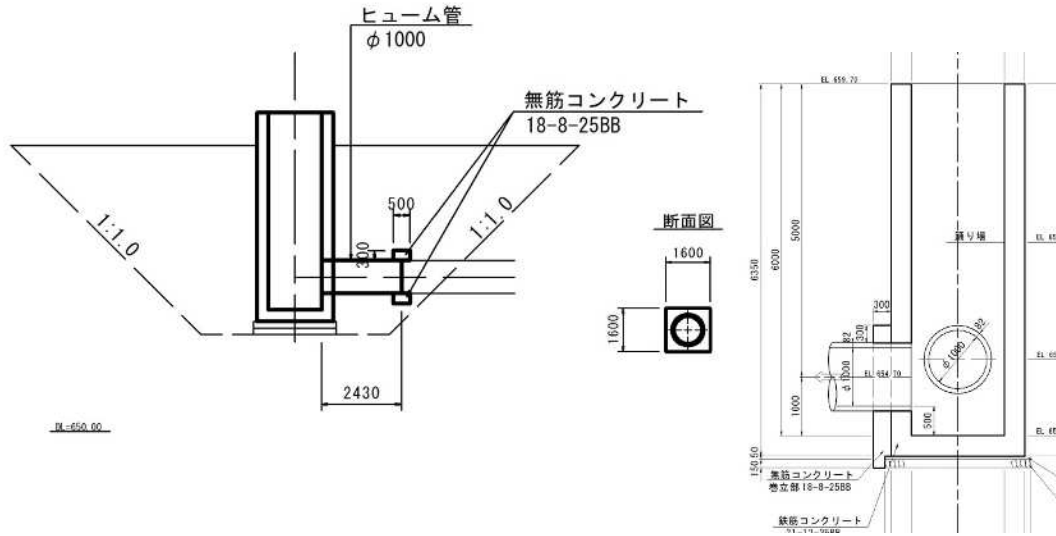


名称	区分・規格	計 算 式	数 量
基面整正		$2.80 \times 2.50 = 7.000$	7.00 m <sup>2</sup>
基礎砕石	RC-40 t=15cm	$2.80 \times 2.50 = 7.000$	7.00 m <sup>2</sup>
均しコンクリート	捨て-8-40	$2.80 \times 2.50 \times 0.05 = 0.350$	0.35 m <sup>3</sup>
同上型枠	無筋構造物	$2.80 \times 0.05 \times 2 + 2.50 \times 0.05 \times 2 = 0.530$	0.53 m <sup>2</sup>
鉄筋コンクリート	21-12-25BB	側壁	$(2.30 \times 0.35 \times 6.00) \times 2 = 9.660$
			$(1.60 \times 0.35 \times 6.00) \times 2 = 6.720$
	底版		$2.30 \times 2.30 \times 0.35 = 1.852$
			$0.30 \times 2.30 \times 0.80 = 0.552$
	控除	$\times 1.164^2 / 4 \times 0.35 \times 2 = -0.745$	
		計	18.039
			18.04 m <sup>3</sup>

G1000 吐出し水槽1箇所あたり数量計算書

名称	区分・規格	計 算 式		数 量
同上型枠	鉄筋構造物	側壁	$2.30 \times 6.00 \times 3 + 2.30 \times 5.55$	= 54.165
			$1.60 \times 6.00 \times 4$	= 38.400
		底版	$2.30 \times 0.35 \times 3$	= 2.415
			$2.30 \times 0.80 + (0.30 \times 0.80) \times 2$	= 2.320
		控除	$\times 1.164^2 / 4 \times 4$	= -4.257
			計	93.043
				93.04 m2
鉄筋	D13		鉄筋重量表より	0.908 t
	D16		鉄筋重量表より	0.163 t
足掛け金物	W300 ビニル被覆			19.00 本
足場工				
		<p>足場工設置範囲</p>		
			$(2.30 \times 4 + 1.1 \times 8) \times 6.35$	= 114.300
				114.30 掛m2

G1001 取付暗渠工(下流側)1箇所あたり数量計算書



名称	区分・規格	計 算 式	数 量
ヒューム管 1000	標準管 L=2,430		1 本
同上 布設			2.43 m
既設水路接続部 巻立コンクリート	18-8-25BB	0.50 × 1.60 × 1.60 = 1.280	
	控除	( × 1.164 <sup>2</sup> /4) × 0.50 = -0.532	
吐出し水槽部 巻立コンクリート	18-8-25BB	0.30 × 1.80 × 2.23 + 0.20 × 1.80 × 0.20 = 1.276	
	控除	( × 1.164 <sup>2</sup> /4) × 0.30 = -0.319	
		計 1.705	1.71 m3
既設水路接続部 型枠	小型構造物	0.50 × 1.60 × 2 + 1.60 × 1.60 × 2 = 6.720	
	控除	( × 1.164 <sup>2</sup> /4) × 2 = -2.128	
吐出し水槽部 型枠	小型構造物	0.30 × 3.23 × 2 + 1.80 × 3.23 + 0.20 × 0.20 × 2 + 1.80 × 0.20 = 8.192	
	控除	( × 1.164 <sup>2</sup> /4) = -1.064	
		計 11.720	11.72 m2